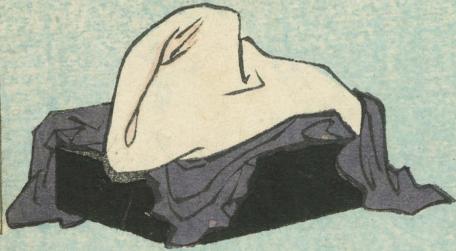


萬福和合神
上

和合生萬福
乾坤



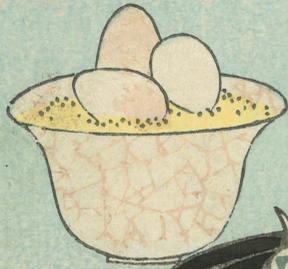
紫平吾妻形



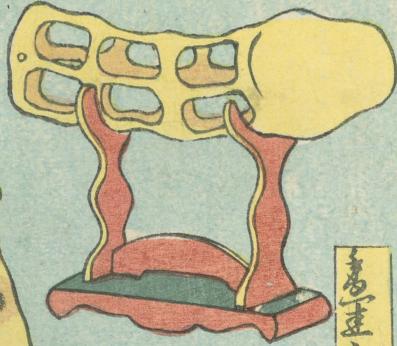
囉摩香



宿称干波珠



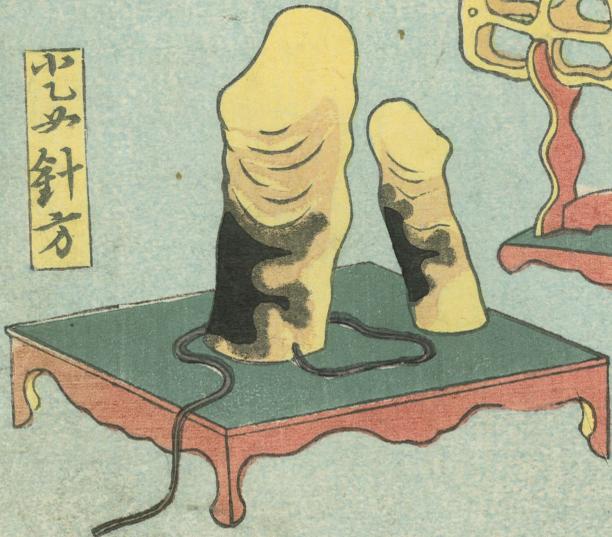
加藤求朝奠泻



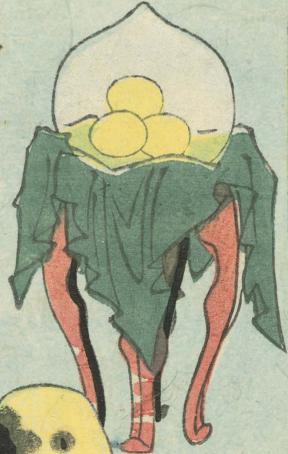
嘉蓮子丸



小乙女針方



下和輪玉



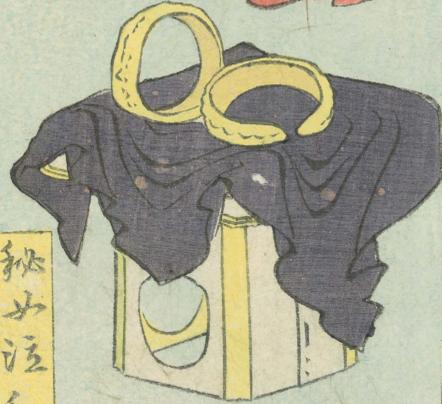
陰陽瑞喜



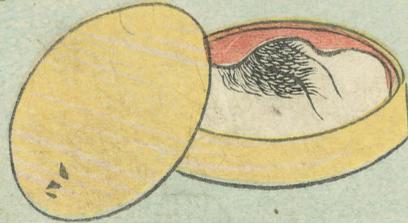
道鏡鈴甲



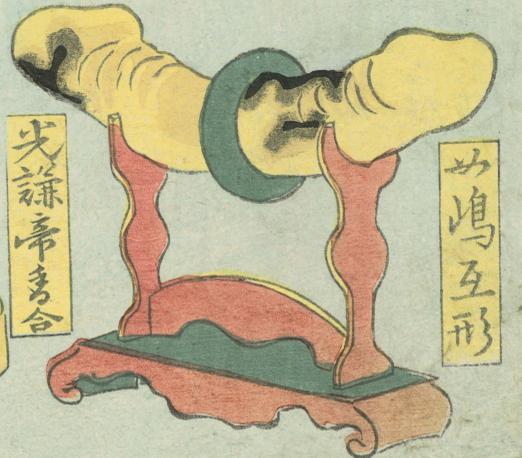
秘女泣和



尖謙帝多合



女鴻互形



野命帳曰雨脚山中小池有り一眼毒
 龍又出入ス時アリテ山谷ノ神ト現シテ
 下ニ鎮坐ス出沒自在ニシテ能ク人種ヲ降
 タス神カヨク雷雨ヲ施シ深情ヨク英雄
 ヲ拉ク男ハ女ヲ待テ悦ヒ女ハ男ヲ迎ニ
 行ク若シ一枕ノ信アラハ靈ノ業ノ徳
 其ノ掌ヲ指スカムシ

和合堂主人記



和合堂主人記
 此の物語は
 和合堂主人の
 筆による

此の山や者すけが
 むすめ十三夜に
 たり

はる自由のそのせうを降あめちあめて身まらうの
根あめのごらうもらもぼくのたうらうにやとらうご
自由自在の物無きとらえ道見らうのぶんあう
横らうまおごごのこま役二取捨のぬらう元あ
むらのおかや一業向のせう上つらう縁がりのおぼ
於仰のちひ時あんとんのかやを返ねらうのつ牙に
福とくの二年めすらひや有捕が昔方々の陽道
あうらうつて其皆ひ決死のかくつて時によがめ
聲ありのめくともお息のしづとみら是れ答生身
の二物やて返りて事な不足なくや方おまけに元
たらうまらうよとらめらうてそおくゆき定れらう肉を

あひのかくあこのかく一房をのぞつてたらうかかく
か一先まふおらうよくまうらうやあひと二面を
氣を替えて初対面の死して事命もえと祈らう
あまふい不足のせあひふ有やひの一本一の仔細
貝形ぞんごごよむらあくのつらうおらあうおき
さ一のあらうまや知らを者よえに人位位のことよ
うらうらう新あめお曲元のえねよ一せよんせ
あめのところやれお初しり魚のつらうよ云より物よ
あめとらうてむらうてあうらうらうらうらうらう
あめとらうのまらうらうらうらうらうらうらうらう
たらうせのらうのまらうらうらうらうらうらうらう

ふきんをえせりりふよむぶぢひまのよせものゆゆや
走つてまことゆひわんびやりに務とのまんまの親のりふ
男ひ付し舟のあふざいふまをきのまののやうなげん
おーらあやとら其聞え法門のゆけえあやりのゆせが
そらけりゆふつき者たあ金のゆきまうく愛教
のこゆきおきよ捨れお其のゆけがふんふん
ゆいんがらまもれゆゆ多ゆゆ娘をゆかがおゆ
ゆいんまゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
お開きあされ

萬福和合神
中

黨福和合神

下



Vertical Japanese text in the upper right corner of the illustration, likely a title or introductory text.

Vertical Japanese text located at the bottom right of the illustration, possibly a signature or a note.



Vertical Japanese text in the upper right corner of the illustration, likely a title or introductory text.

Vertical Japanese text located at the bottom left of the illustration, possibly a signature or a note.

後編のしあふとをうけ

後編 通序



心平氣和のしあふとをうけ
しあふとをうけ

